

秘密標記 (赤色)

()

政第 255 号

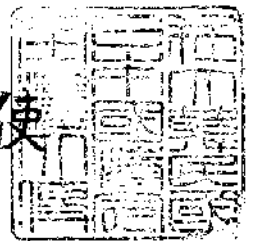
昭和

昭和 50 年 月 14 日

外務大臣 殿

大韓民國

後宮大使



(件名)

第二次大戦 韓国人遺族命の陳情

引用公・電信
日付・番号

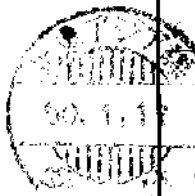
第二次大戦の際戦没した韓国人の遺
族は多くは陸軍と北朝鮮太平洋戦争遺族命
より別紙のとおり陳情書が郵送して北朝鮮
の北朝鮮新聞を通じて北朝鮮に送付した。

付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (D.P) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

本信送付先:

本信写送付先: 釜山

省内写配布希望先:



秘密指定解除

公文書監理室

—秘—

従来、同国等は、この種懸の懸識を有するの事
不明であり、所有国等々之の力造長を有するに
見ても、此等が、同国等々は、同国等々の懸識を有し
命員散在するに等しいと見らる。其後、当方利
命員、命員各等命員に關する資料造時を
求めたのは、従って、本心で造時存在し。

太平洋戦争遺族会第十五号

1975. 1. 7.

受信 日本国大使館 大使

発信 太平洋戦争遺族会

題目 講演

1. 第二次大戦当时 韓国 人 軍人 軍属 等

犠牲 挺身隊等 戦死者 死亡者 行方不

明者 計 22 萬 1 千 名 7 名 海軍 援軍

2. 遺骸 一括 奉還

3. 納骨堂 建立

4. 慰霊塔 建立

5. 遺族会館 建立

6. 遺族墓地 無償貸付

7. 遺族財団協賛 (基金周旋) 日貨四億四千万

萬円

8. 柱石 補償金糾明 (遺族一時金, 遺族年金, 弔慰金, 恩給, 特別給付金, 公務扶助料, 遺族給與特別年金等)

9. 日本遺族会と韓国太平洋戦争遺族会と

結縁兄弟提携

10. 遺族代表日本に招請

註解.

1. 吾等は貴国本の, 内籍一件もとほ

之3 皇国臣民として 国家总动员令以上27
 陸軍 拾七萬八仟余名, 海軍 二萬二仟余名,
 勞務者 十五萬余名, 挺身隊 八萬余名, 計
 四十四萬余名の 動員工兵, 二十二萬百余名
 の 復員し, 戦死 ~ 死七 ~ 行方不明者 ~~の~~
 二十二萬^余千^〇名である。 ~~この~~ ~~間~~ ~~に~~ ~~按~~
 華工 ^海 戦死者名 ~~は~~ 二萬二仟百八十二名
 にすぎない。 ~~この~~ ~~間~~ ~~に~~ ~~按~~ 十九萬幾千名の ~~名~~ ~~を~~ ~~本~~ ~~会~~
 に按率移送すべし。 (1945年8月24日,
 龍島丸事件 3,736名中 24余名生還
 54名の名 ~~は~~ ~~海~~ ~~に~~ ~~あ~~ ~~る~~ ~~が~~, 1,682名の

名簿は次の通り

2. 日本東京祐天寺(1971年6月に安置)に

安置した遺骸(2,329位の中, 246位奉還

12,200, 911位奉還, 現在1,172柱)

及び日本全国寺刹に安置した韓国人遺

骸又は日本各県国立墓地に安葬された

韓国人遺骸を無条件故国奉還する事

3. 30年前前 韓国の方霊となった22萬余

冤魂中無縁故者は安置財庫に立て

る一本会では納骨壺に安置し管理

する予定である。遺族の理解が望ましい

納骨堂(釜ヶ崎霊園)は拒絶する。うら

めしい死も悲痛なのみ、くまうとは何故

るにせか? いやね。遺族会と~~打~~打合

せて納骨堂を建立するに

4. 日本による22萬年~~の~~ ~~奉~~ ~~養~~ ~~の~~ ~~事~~ ~~を~~ ~~行~~ ~~な~~ ~~す~~ ~~に~~

~~は~~犠牲と^死死した青春の英魂を記念する

ための(象徴)慰霊塔を立て、本会では

一年に一回づつ集会して、慰霊祭を行

い、英霊を追慕し、籍の関係を理解する。

5. ~~同~~ ~~様~~ ~~に~~ ~~お~~ ~~ま~~ ~~か~~ ~~し~~ ~~て~~、もし二次大戦に勝利し

たならば、遺族待遇を如何にするに結

んを~~て~~あ~~ら~~うか、~~本~~ 本会自修で造成し、落~~後~~^伍
 の~~な~~、余生を送るために 不断な協力、努
 力が~~必~~要なので 会館をつくらせて 相互相力を
~~新修~~ (体会目的の発露地)

6. 寛~~痛~~を~~戦~~死~~と~~し~~た~~人々を~~一~~つ~~の~~
 場~~所~~に 永久に 永眠する~~場~~に~~一~~つ~~の~~
 場~~所~~に 集める。

7. 22萬余魂を~~慰~~勞し、~~家~~か~~亡~~い~~て~~
 した~~遺~~族の~~福~~祉~~向~~上、慰~~霊~~祭~~又~~は
 管理維持及~~心~~學~~制~~度~~を~~作~~る~~等 本会~~の~~

主管の下で事業を~~新修~~ (英~~霊~~の~~慰~~勞~~所~~ 慰~~霊~~祭~~所~~ 慰~~霊~~祭~~所~~)

済事業)

8. 日本^地の植民^地として 日本総動員令によつて
 太平洋戦争に参戦して戦死したるわが
 國遺族也す。宿命的な遺族として、
 日本と紐帯を鞏固^固にせんとし、結縁兄弟
 を日本遺族会に提携す。

10. 吾等遺族は英薔と関係の深い日本
 を訪問、自慰し、戦友の遺族といふ(日本
 ~韓国)共存共栄意識と親善を圖謀
 す。

右記事項を、ご依頼願します。

1975年 1月8日

釜山市東萊區在安洞 809 172

太平洋戦争遺族会

太平洋戰爭遺族會 著于五冊

九五五 一 各

長信 日本國 大使館 大使位

祭信 太平洋戰爭遺族會

題目 請 願

1. 第一次大戰時 韓國人 軍人 軍屬 勞

務者 挺身隊等 戰死者 死亡者 行

方不明者 計二十萬餘名 名單 按率

2. 遺骸 一括奉還

3. 納骨堂 建立

4. 慰靈塔 建立

5. 遺族會館 建立

6. 遺族墓地 無償貸付

7. 遺族財團協賛 (基金周旋) 日貨(四億四仟

萬円)

8. 檢査 補償金 糾明 (遺族一時金 遺族年金

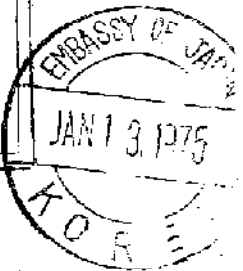
因支給 特別給付金)

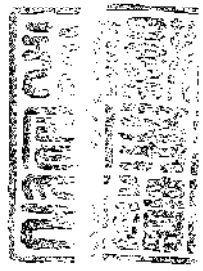
公務扶助料 遺族給與

特別年金等)

9. 日本遺族會 外 韓國太平洋戰爭遺族會

外 結縁兄弟提携

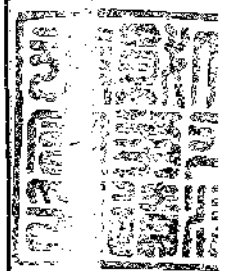




10 遺族代表 日本의 招請

註解: 1. 各等의 貴國家의 內鮮一體를 以는 又
2. 皇國臣民의 國家總動員令의 後計
陸軍 拾七萬 / 行錄名 海軍 二萬 / 行錄名
防務者 十五萬餘名 挺身隊 / 萬餘名 計
四十四萬餘名이 動員 高計 二十二萬 百餘
名이 復員되고 戰死 死之 行方不明
者外 二十二萬餘名이다. 又 韓國의 被
率의 戰死者名單은 二萬三千八百二十二名이
十九萬餘名이 名單之本會로 被率移送其及
(一九四五年八月五日 乳島丸事件 三三三之名中
三十三名은 生還 五十四名은 名單은 이고 一八八三名
의 名單이 있다)

又 日本東京祐天寺 (一九七二年三月) 女遺(의) 女
遺의 遺骸(三三三九位)의 三四位奉還 習九一位
奉還 現在(一七三粒) 又 日本人全國寺刹의
女遺의 韓國人遺骸은 日本各島國之墓地
의 女遺의 韓國人遺骸을 無條件故國奉還 其及
3. 三十年代前 護國의 英靈이 三十二萬餘名
魂中 無緣故者은 十女遺所은 習은 外의

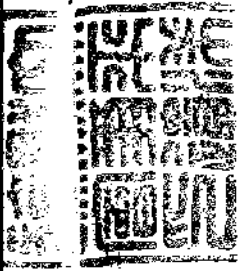


本會에서 納骨堂에 安置하든管理하든
 遺族이 理解못하 納骨堂(釜山靈園)은 拒絕
 한다. 寬痛하 子인도 悲痛하데 外사들이 誰
 알이木? 실은 遺族會外 打合하든 納骨堂
 을 建호할가

4. 日本의 依하 三十三萬餘名의 青春들이 寬痛하
 계 犧牲高하 寬魂들을 記念하기 爲하든 (象徴)
 慰靈塔을 세우든 本會에서 去年의 佳句式
 集會하든 慰靈祭를 지내고 其靈들을 追慕
 하든 韓日關係를 理解하든

5. 回顧하든 萬若二次大戰의 勝利를 獲하든 遺族
 待過를 何式으로 對하든고 想하든? 事實
 上 寬痛하든이다 故로 本會 自體에서 遺族하든
 格位에서 餘生을 지키기 爲하든 不斷하든 協力
 努力이 必要하든 會館을 對하든 相扶相助
 하든 (本會目的의 發地)

6. 寬痛하 戰死를 하 宿命끼리 나라하 二리고
 기리기리 永眠호든 하 곳의 모시게다
 7. 三十三萬餘魂의 死를 慰撫하든 敗家湯建호하
 遺族을 其存하든 根基에서 (遺族福祉向上)



慰靈祭云々之 信守維持矣 英學制度云々
等 本會ヲ主管ハ何事業云々可及ナ (英靈ヲ
題彰 慰靈故實事業)

8. 日本ヲ植民スル 國家總動員令ニ 依テ
日本戰場地ニ付犧牲イ 死スルニ 日本ノ
復行遺族年會法云々具體的ニ云々可及ナ

9. 吾等之 日本ヲ植民政策ニ 國家總動員令
ニ 依テ太平洋戰爭ニ 參戰シテ 戦死スル
我之 遺族ヨリテ 故云 宿命イ 遺族ニ云々付

日本ノ 紐帶ヲ鞏固シ 可及ナリ 此ニ 結縁
兄弟ニ 日本遺族會ニ 提携シテ
10. 吾等遺族之 英靈外 關係ガ 甚クニ 日本方面ニ
訪問 自慰可シ 戰友ノ 唯一可 遺族カリ

(日本ノ 韓國) 共存共榮 意識外 親善ヲ
圖謀可及ナ

右記 事項云々イ 期必 苦待可及ナ 此ニ
請願可及ナ

西紀一九七五年一月一日
釜山市東萊區廣安洞八〇番地一一一

太平洋戰爭遺族會

電話 九八四〇番

連絡處 三三三番



